

33FG ビジネスプランコンテスト2021



渡辺社長（前列右から4人目）と受賞者の皆さん  
＝四日市市諏訪町で

【四日市】三十三ライナ主催する「33FGビジネスプランコンテスト」の表彰式と県中小企業家同友会が主

33FGビジネスプランコンテスト 企業個人7件、学生3件受賞

ワムサンゴ氏がグランプリ

日市商工会議所で開かれた。今回は、県内や愛知県内で事業展開する企業や個人から数多くの応募があり、一般コースで七件、学生コースで三件が受賞。最高のグランプリにはヒゲニ

・イスミール・ワムサンゴ氏の「ゼロから始める短期で大量耕作、大量販売、高収益野菜作り」が選ばれ、ワムサンゴ氏が同FGの渡辺三憲社長から表彰状と賞金三十万円の目録を受け取った。

ワムサンゴ氏は「四日市でなばなやホウレンソウなどを育てている。知識や資源がゼロの状態。四年前から農業を始め、土地の改良や育苗の方法などの試行錯誤を繰り返してきた」と振り返った上で「将来、日本で培った農業技術を母国ウガンダの食料問題解決につなげたい」と抱負を語った。

渡辺社長は「地域課題を解決し活性化につながるも

の、コロナ後に向けた新モデル、SDGs達成に資するプランなど魅力あふれるプランが多数あった中で、受賞した十件は特に新規性・独創性に富み、今後大きな飛躍が見込まれる」と評価。 「われわれを取り巻く環境は企業、個人ともに不透明感が強まっている。地域経済活性化を図るため、経営コンサルディングや販路開拓支援などネットワークを駆使し、産学官民の緊密な連携を図りつつ、プラン実現に向けた支援を行う」と語った。

- ◎一般コース【準グランプリ】OptTech・代表社員・藤井琢也（愛知県豊橋市）▽鈴木一彦（津市）【優秀プラン】ウエイト東海・代表取締役・片山ト東海（愛知県半田市）▽山口化成一（技術営業部長）松倉佳史（愛知県豊川市）▽松太郎・代表取締役（優秀賞）伊藤いち（津市、県立津商業高）▽NTT西日本特別賞】J T G・代表取締役・清水康孝◎学生コース【最優秀賞】佐々木大樹・曾我優太・若月元哉（春日井市、中部大）【優秀賞】伊藤いち（津市、県立津商業高）【佳作】富山正之・平井陸（伊勢市、皇學館大）（竹尾典晃）